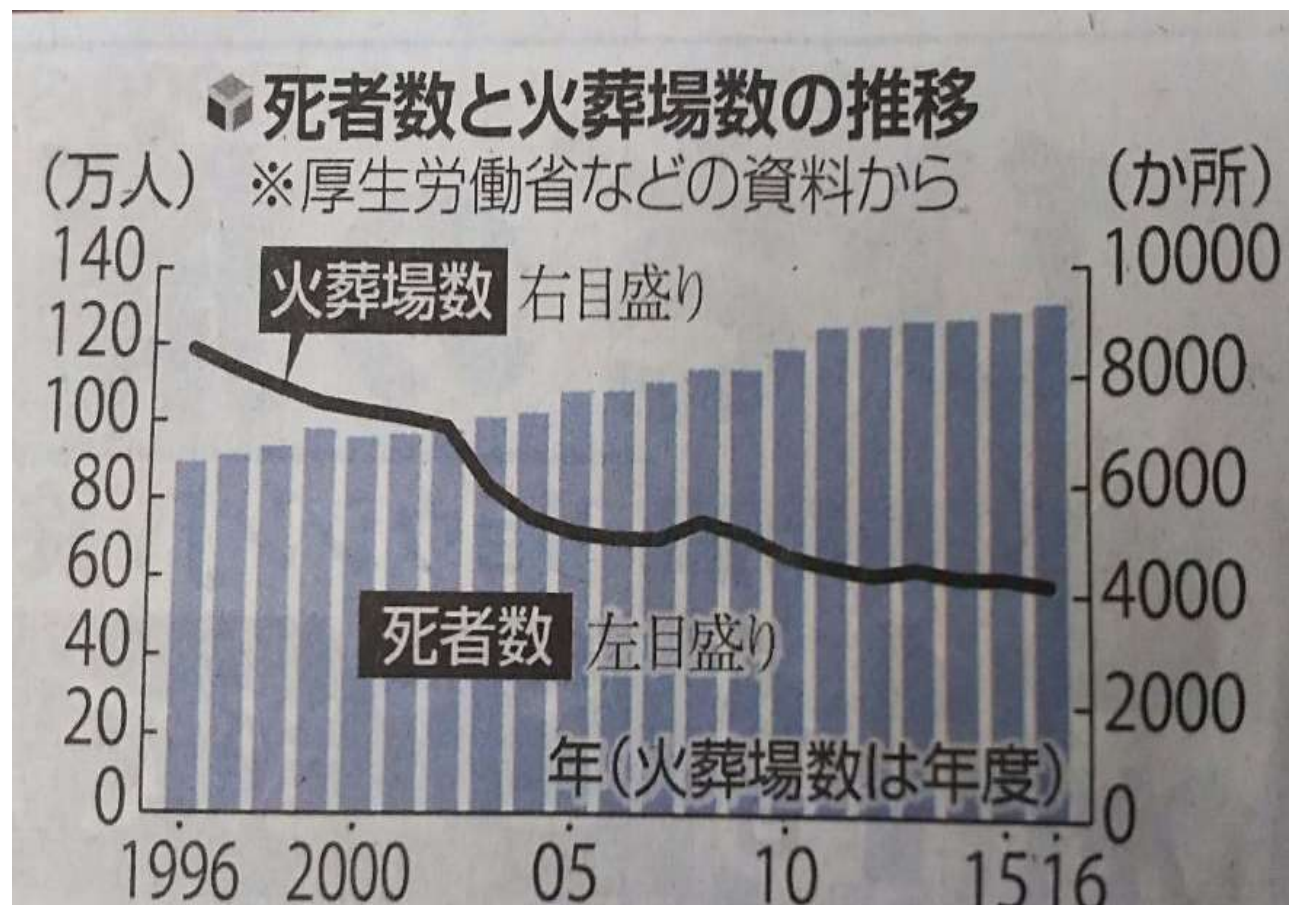


火葬場不足「順番待ちで」 -遺体ホテルが広がる-



1. 死者数と火葬場数の推移…



1-2.国立社会保障・人口問題研究所データ…

①死者数実績と推計

- 2016年死者数実績：
 - ・130万7,748人
- 2025年死者数推計：**
 - ・**団塊世代が75歳以上の後期高齢者となる。**
 - ・**150万人を超える**
- 2040年死者数推計：
 - ・166万6,000人に達する見込み

②火葬場数の推移と待機日数

- 1996年度全国火葬場数：
 - ・8,481ヶ所
- 2016年度全国化相場数：
 - ・4,181ヶ所(▼50%)
- 横浜市例：
 - ・**平均4日／夏季・冬季は亡くなる人が増加する為、1週間程度**



2. 遺体ホテル（ラストホテル）が求められる社会背景…

① 葬儀場で告別式を行わない人が増えているが、火葬までの待機中は自宅を安置することになるが…

- マンション住民は、棺をエレベーターに運び込めない
- 弔問客への応対に負担を感じる喪主が増えている

② 火葬場の数が減少している為、都市部では平均4日程度、遺体を安置しなければならない

- その間、ドライアイス等で**遺体の管理**をしなければならない
- 葬儀業者が関与すると、**1日2万円程度の追加費用**がかかる
- 遺体管理の精神的・肉体的負担が大きい
- 人口が集中する都市部では、特に大きな問題となっている



③ 遺体ホテル（ラストホテル）の料金概要

- **1泊：12,000円～22,000円**（地域・サービス内容により異なる）
- 高齢化社会・葬儀の簡略化で、今後需要は更に伸びると考えられる

3. 遺体ホテル増加に伴う関連サービス…

① 遺体搬送サービス介護タクシー業の事業拡大

- 介護タクシー業の事業拡大
- 病院や高齢者施設で無くなった方を、遺体ホテルや葬祭会社に搬送する

② ドライアイスを使わない遺体管理装置

- 機械開発企業の事業拡大
- **ドライアイスを使わずに「氷点下」を保てる保冷装置の開発**
- 長期間、きれいな状態で遺体を保存できる
- 遺体管理会社でも利用されている

